だっこするよ

2025 年３月

社会福祉法人茂原高師保育園
北区立赤羽台保育園
園長　奥戸　昌子

日々是好日　卒園、進級　おめでとう!!

三寒四温を繰り返し、春の到来です。ゆきのおうちが１０月に植えた玄関のチューリップ、厳しい寒さを越えて小さな芽が出てきました。いよいよ４１名のどんどんさん達が卒園式を迎えます。そして、それぞれに進級や転園など新しい人生の一歩を歩みだします。

この時期、一年を共に暮らしたおうちは、温かな家族に育ちました。誰もがそれぞれの個性を受け止めてもらってありのままの自分で過ごしています。クラスでの信頼が見えるようです。

ホールで「はないちもんめ」で遊んでいるのを見つけ「入れて～」と飛び込み参加すると…「いいよ～」と笑顔で迎えてくれました。手を繋ぎ、笑い合って遊ぶ姿に、人間が生きていることの尊厳に触れたように感じました。じゃんけんで、メンバーが変わっても直ぐに手を差し出して仲間に迎えてあげる…どんどんさん達が遊びを率先して進めています。主体的に集団をまとめ育てていく力、どんどんさんの成長を感じました。

そして、今、ニュースで見聞きするウクライナへの侵略戦争を世界はどう解決していくのか、とても気になります。保育は、乳児からの平和教育でなければとならないと思いました。年下の子に気遣うどんどんさんを見ていると、世界中の誰もが人間らしく生きられる平和を、早期解決を心から願います。

異年齢保育は、発育も遊びもこだわりもみんな違う子ども達が、雑多な共同生活を通して、面白がったり喧嘩したりと多くの出来事にぶつかって、自分なりに感じ、考え、対話して、共に成長する「きょうだい保育」です。大人が、「こうしなさい」と教えるものではなく、他者を思いやる優しさやコミュニケーション能力は、既に生まれながらにもっています。子どもは子どもの群れで人間に育っていく…「みんな違ってみんないい」の言葉もいらないくらい、当たり前に個性を理解し合っています。乳児の時期に子どもと大人の１対１で愛着関係を育み、少グループで過ごし、やがて異年齢の群れで育っていく…より主体的に活動しています。

新年度に向けて、環境の変化に不安をもたれる保護者もいらっしゃると思います。子ども達は、信頼する大人や友達との絆をもって進級していきます。しっかりと壁を越え、自身の根を張ります。ご心配な時は、担任までお声掛けください。

日々是好日、泣き、笑いして成長していく日々が宝の時間です。新どんどんさん、ぐんぐんさんが、お兄さん、お姉さん達から習ったように新のびのびさん達をみんなで可愛がっていくことでしょう。

さて、園庭を子ども達がワクワクする「あそびの場」に改修します。厚生労働省の保育所保育指針でも保育の環境には「生き生きと活動できる場」と共に「くつろぎのある場」であることが必要だとされています。現園庭は、平らで三輪車やボール遊びには適していますが、木陰で虫探しや泥や水や雑草などで触覚や嗅覚など五感を使って遊ぶことには適していません。そこで、ASOBIO さんの理念と園の希望が重なり、改修をお願いしました。生命や四季を感じる庭に改修します。着工は、北区の許可がでましたら開始です。「子ども達の最善の利益」を園庭環境からも目指します。

いよいよ 15 日、卒園式を迎えます。最年長児として、行事を「やる」か「やらない」か、話し合い、そして、決まったら、協同して実行する力など心身共に大きく深く成長しました。遊びも生活も年下の子ども達の憧れのモデルになって、優しく教えてくれました。ここで出会ってくれて本当に感謝です。いい時間を過ごせたとつくづく思う毎日です。先日、卒園式の練習に初めて参加しました。なんと入場から、小さな頃を思い出して、もう涙が溢れて止まりませんでした。社会の宝であり、私達の未来や希望である４１名、一人一人が堂々と証書を受け取り、将来の夢を宣言していました。みんななら大丈夫！誰とも比べず、あなたのやりたいことを探究して楽しんで欲しいです。時々は、遊びに戻っておいでね。

写真は、どんどんさん達、地域の皆さんとの雑巾縫いの様子